

一般会計は、 3335億2千万円

市民生活の全体をまかなう「一般会計」の予算総額は335億2,000万円となりました。

昨年度と比較し、3.1%、10億2,000万円の増となりました。

歳入

本年度の収入額として一番大きなものは市税です。その額は119億8,336万円で、全体の35.7%を占めます。

市税の中では、法人市民税の伸びが期待できることから2億1,200万円の増収を見込んでいます。

地方交付税は75億円で、昨年度比、11.9%、8億円の増を見込みました。

地方交付税は、国が推し進めてきた構造改革以後、削減され続けてきましたが、総額としては、初めて上向きになりました。特に本年度は、地方再生対策費が創設され、地方の活性化が財

政面からも強化されることになりました。市でも、地方再生対策費や合併特例債の償還費に対する交付税措置などの上積みによって増額となりました。

歳出（目的別）

歳出では、予算編成方針に基づき、さまざまな事業の実現化が図られていますが、特に「教育費」、「衛生費」の伸びが大きくなっています。

教育費は、穂高北小学校の耐震・大規模改造や穂高交流学習センターなどの大型建設事業を予算計上したため、大幅な増額になりました。

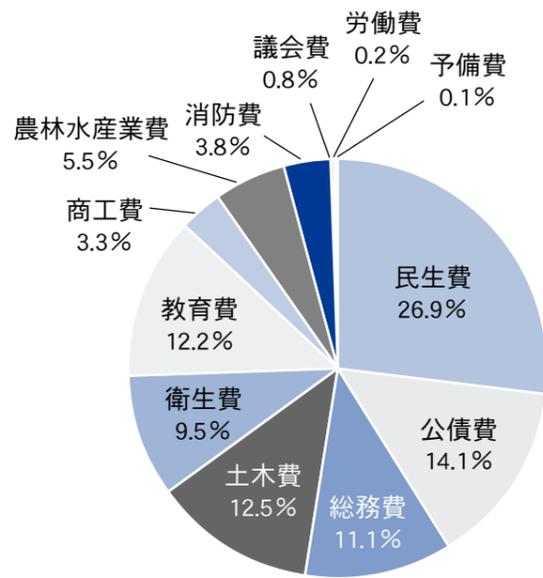
また、衛生費は安曇野赤十字病院建設補助が盛り込まれているため増額になっています。

歳出（性質別）

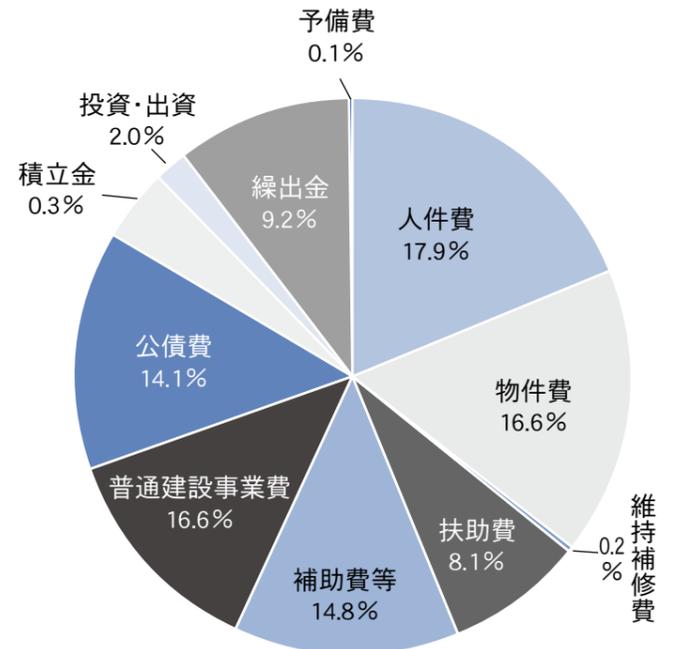
歳出の性質別では、前述の建設事業費のほかに、「補助費等」が大きく伸びています。

これは本年度から後期高齢者医療制度が始まり、この医療制度を担う長野県後期高齢者医療広域連合への負担金が増えたためです。

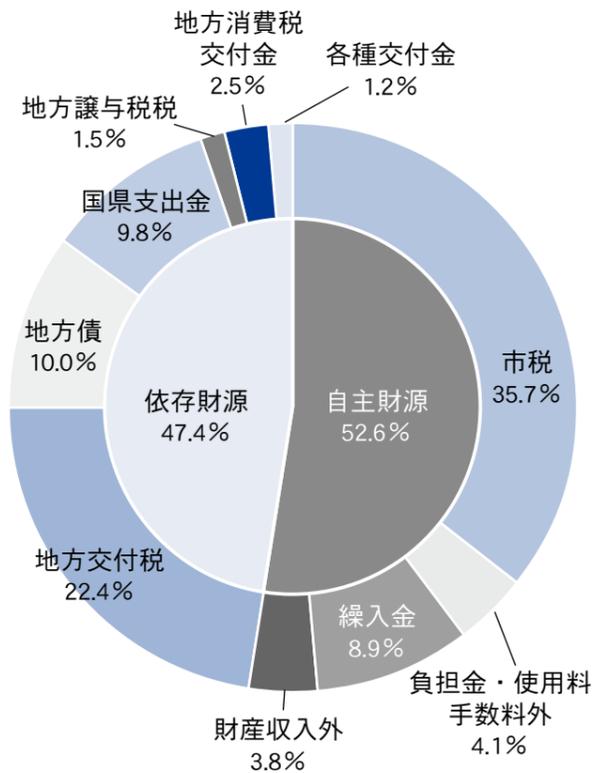
一般会計歳出構成比率（目的別）



一般会計歳出構成比率（性質別）



一般会計歳入構成比率



昨年度と比べ

10億円増

3.1%増



市民1人当たり

一般会計で **33万6,192円** 使われます。

主な目的で換算すると・・・

目的別歳出額÷9万9,705人(4月1日人口)

総務費・・・ **3万7,397円**

市の事務管理、庁舎管理、交通安全対策、防災、選挙など

民生費・・・ **9万485円**

障害者福祉、児童福祉、保育園、高齢者福祉、福祉医療など

衛生費・・・ **3万2,010円**

健康診断、予防接種、保健センター運営、ごみ処理など

土木費・・・ **4万2,047円**

道路・公園・河川など維持補修や整備など

教育費・・・ **4万951円**

学校教育、社会教育、学校給食、交流学習センターなど

公債費・・・ **4万7,426円**

地方債の返済など